

国民健康保険おいらせ病院経営強化プランに
関する点検・評価書

令和8年 3月

国民健康保険おいらせ病院

I 点検・評価にあたって

(1) はじめに

おいらせ町の公立病院改革は、国のガイドラインに基づき、平成 21 年 2 月 28 日に「国民健康保険おいらせ病院経営改革プラン」、平成 29 年 2 月 28 日に「国民健康保険おいらせ病院新経営改革プラン」を策定し経営改善に努め改革に取り組んでまいりました。

更に【令和 4 年 3 月 29 日付 持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン】に基づき、持続可能な地域医療提供体制確保のため、公立病院の経営を強化していくことを目指し、令和 6 年 3 月に令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間を目標期間とし、「国民健康保険おいらせ病院経営強化プラン」を策定した。

経営強化プランでは、これまでの改革プラン・新改革プランと同様、実施状況について概ね年 1 回程度、病院運営審議会による点検・評価をすることとし、令和 5 年度の本プランの実施状況についての点検及び評価を行った。

(2) 令和 6 年度 おいらせ病院事業報告 総括事項

地域社会における人口減少と高齢化の進行は、医療の地域的偏在をもたらし、診療科の閉鎖や病床の削減といった医療体制の縮小を招くなど、地域医療を担う自治体病院として医療提供体制の維持が以前にも増して厳しくなっております。このような中、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、自治体病院としての役割や機能の最適化並びに中核病院との連携強化が求められているところです。

経営状況においては、経常収益では、地域医療機関との連携強化やベッドコントロール機能の効率化などの取組により、前年度と比較して 2.0%の増加を達成しました。一方、経常費用では、現有・物価などの高騰に加えて、人事院勧告を踏まえた賃上げなどの影響により前年度と比較して 4.9%の増加となりました。この結果、収支バランスが悪化し、厳しい病院経営環境に直面しています。

医業サービスにおいては、令和 5 年度の小児科常勤医採用に続き、令和 6 年 4 月から整形外科常勤医師を採用したことにより、地域住民が地元で整形外科診療を受けられるようになりました。遠方の医療機関への移動負担が軽減され、小児科と整形外科という主要診療科の体制強化は、新たな患者様の受信につながる相乗効果が期待されます。

また、新型コロナウイルス感染症対策としては、感染症後も継続して発熱外来を実施するなど、地域の感染対策に積極的に取り組みました。

今後も人口減少がもたらす地域社会の縮小などの社会的要因や新型コロナウイルス感染症及び物価高騰等の影響などで厳しい運営が続くと予想されます。こうした状況化でも収支バランスの改善と経営の健全化を図りながら、地域の健康を守る最後の砦として、地域住民の安心を守り、信頼され、親しまれる病院づくりに努めてまいります。

II おいらせ病院経営評価プランの実施状況について

(1) プランの内容と取組状況

項目	計画	実施状況
地域医療構想を踏まえた役割	基幹病院との連携を強化し後方支援病院として基幹病院への救急搬送・在宅復帰支援の入院患者受入、老人・介護施設からの入院受入れを推進	これまで同様、院内は毎週の「ベッドコントロール会議」を中心に、院外は基幹病院の連携室や地域のケアマネージャーと随時連携を取りながら救急搬送・入院患者の受入を継続して実施しています。また入退院・転院をスムーズに行えるように、ケアブック（システム）を導入し情報共有化をはかりました。
	当該経営強化プラン期間中は現在の病床数を維持	病床数については、計画通りに現在の病床数（78床）を維持しています。
地域包括ケアシステムにおける役割	回復期医療需要増加に対応するため病床の機能変更を実施、病床利用率の向上を図る	病床の機能変更は、今後の医療需要の変化に対する調査が必要となるため令和6年度は機能変更検討を実施していません。
	在宅復帰した患者の訪問診療を実施、介護・福祉領域への橋渡しを実施	これまで同様、地域連携室を中心に地域のケアマネージャーと連携を図り訪問診療を継続して実施しています。
機能分化・機能連携	令和6年4月より常勤整形外科医師1名を増員し、常勤科を拡充	令和6年4月より、常勤整形外科医師1名を増員し常勤科の拡充を実施しました。本取り組みにより、医療提供体制の強化、患者利便性の向上が図られました。
	基幹病院である八戸市立市民病院との地域連携パスの運用検討会等に参加し連携強化を図り、高度医療受診後の患者受入れを強化	基幹病院である八戸市立市民病院を中心とした連携会議（年3回開催）に積極的に参加し、連携強化を実施しました。
	在宅患者、施設入所者の入院受入れを実施、在宅療養の後方支援機能を強化	八戸市立市民病院スーパービジョン（3か月に1回開催される医療ソーシャルワーカーの勉強会）に参加し、事例の共有等による知識向上を行い機能強化の取り組みを行いました。
新興感染症対応	当該計画期間中は、感染対策委員会・院内感染防止対策部門・感染制御チームを中心に施設改修では無く、必要備品を補充し対応	必要備品の補充については令和6年度は特に新たな品目等の追加は実施していません。防災訓練を実施し、非常用電源の使用試験を行ったところ、使用時に騒音・臭気等の問題が発生したため、次年度以降ポータブル電源の購入を検討することとしました。
一般会計負担	総務省通知の操出基準に基づいて一般会計負担を実施、これまで同様に基準外操出は実施しない	操出についてはこれまで同様に、一般会計負担を実施し、基準外繰出は行っていない

住民の理解	おいらせ病院運営審議会・国民健康保険運営審議会・民生委員会、パブリックコメントを通じ広く町民の意見・提案を受ける	新採用の整形外科医師・看護師・事務長による町内講習会（北部地区）を実施し、病院の認知度向上と住民の理解を得るための活動を実施しました。
最適な経営形態の選択	当該計画期間以降の病院新築移転計画の円滑化のため地方公営企業法一部適用を継続、以後は地方公営企業法全部適用に絞り、調査・検討を継続	地方公営企業法の全部適用については当該計画期間以後の調査・検討を予定しているため、令和6年度には調査・検討を行っておりません。
医師・看護師等の確保	求人広告、人材紹介会社等、これまでの取り組みを継続し医師確保に努める	取組を継続して実施しています。人材紹介会社から日当直業務にあたる医師の紹介、看護師の正職員、会計年度任用職員については町内広報誌による募集を継続しています。
	連携中樞都市圏医師派遣事業による医師派遣の継続を依頼	これまで同様、整形外科医（毎週木曜半日）、脳神経外科医（月1回半日）、眼科医（月2回1日）の外来業務派遣、休日の日直業務（月2回）・平日の宿日直業務（月2回）の派遣を受けています。
	看護師等医療従事者は上記取り組みの他に教育機関への情報発信を実施する	令和7年度の八戸学院大学看護学科の就職説明会に参加しました。
医師の働き方改革への対応	タイムカードによる時間管理を継続し、時間外労働時間等の把握に努める	タイムカードと事前残業申請制度を継続し、労働時間の把握に努めました。月1回の安全衛生委員会にて時間外労働状況を把握し、時間外労働の適正化に向け取組みを継続しました。
	基幹病院への医師派遣を依頼し、医師の意識・意欲向上を支援	前年に引き続き、八戸市立市民病院へ小児科・内科医を毎月第2・第4金曜日に派遣し、研鑽の支援を実施しました。
事務局体制強化	人事異動に備えたマニュアル整備・業務効率化、配属期間延長を検討	随時、マニュアルの更新を実施し、業務の効率を図りました。
施設・設備の最適化	令和6年度CT設備更新・特殊浴槽の入替を予定	令和6年度は、移動型X線装置及び錠剤分包機を更新した。CT設備・特殊浴槽の更新は令和7年度に行う。
	移転準備のための医療機器・固定資産の調査完了	台帳とのすり合わせが完了し調査完了しました。
	メールアドレス等の情報統制を実施し、管理体制を構築し情報セキュリティを強化	病院新築移転計画に合わせ、新病院のシステム構築の一環として検討することとしました。

(2) おいらせ病院経営プラン 収支計画の実施状況

収益的収支

(単位：千円)

科目	年度	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (参考)	令和6年度			令和9年度 計画(参考)
				(計画値)①	(実績値)②	差②-①	
1. 収益的収入		979,482	980,816	1,076,548	1,000,119	▲ 76,429	1,111,626
医業収益 (A)		843,126	835,756	943,125	828,390	▲ 114,735	978,280
入院収益		527,396	566,708	601,130	580,295	▲ 20,835	632,286
外来収益		193,004	177,594	220,294	156,884	▲ 63,410	225,083
その他医業収益		122,726	91,454	121,701	91,211	▲ 30,490	120,911
他会計負担金 (B)		43,301	52,140	55,701	52,459	▲ 3,242	55,701
うち基準内繰入金		43,301	52,140	55,701	52,459	▲ 3,242	55,701
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0	0
その他医業収益		79,425	39,314	66,000	38,752	▲ 27,248	65,210
医業外収益 (C)		136,356	145,060	133,423	171,730	38,307	133,346
他会計補助金		33,245	30,747	42,384	24,217	▲ 18,167	42,384
他会計負担金		66,903	86,696	75,073	125,113	50,040	75,073
うち基準内繰入金		66,903	86,696	75,073	125,113	50,040	75,073
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0	0
国庫補助金		1,337	0	0	0	0	0
県補助金		18,944	5,977	243	731	488	243
長期前受金戻入		9,805	16,711	9,429	16,555	7,126	9,429
その他医業外収益		6,122	4,930	6,294	5,114	▲ 1,180	6,217
2. 収益的支出		935,649	1,018,560	1,066,493	1,068,501	2,008	1,083,172
医業費用 (D)		893,875	983,486	1,024,719	1,034,230	9,511	1,041,398
給与費		573,086	597,250	632,768	659,692	26,924	644,669
材料費		79,801	77,791	98,867	85,669	▲ 13,198	103,299
経費		182,539	227,081	231,728	209,846	▲ 21,882	232,074
うち委託費		131,455	159,499	179,086	154,258	▲ 24,828	179,086
減価償却費		54,604	79,785	60,000	77,258	17,258	60,000
その他医業費用		3,845	1,579	1,356	1,764	408	1,356
医業外費用		41,774	35,073	41,774	34,271	▲ 7,503	41,774
支払利息及び企業債取扱諸費		99	513	99	466	367	99
患者外給食材料費		284	256	284	282	▲ 2	284
雑損失		0	0	0	0	0	0
消費税		4,442	3,406	4,442	1,901	▲ 2,541	4,442
長期貸付金貸倒引当金		1,200	1,200	1,200	1,200	0	1,200
その他医業外費用		35,749	29,698	35,749	30,422	▲ 5,327	35,749
3. 経常損益		43,833	▲ 37,744	10,055	▲ 68,382	▲ 78,437	28,454
特別利益		448	0	0	0	0	0
固定資産売却益		0	0	0	0	0	0
過年度損益修正益		448	0	0	0	0	0
その他特別利益		0	0	0	0	0	0
特別損失		0	0	0	0	0	0
固定資産売却損		0	0	0	0	0	0
過年度損益修正損		0	0	0	0	0	0
その他特別損失		0	0	0	0	0	0
4. 特別損益		448	0	0	0	0	0
5. 純損益		44,281	▲ 37,744	10,055	▲ 68,382	▲ 78,437	28,454
6. 前年度繰越利益剰余金		▲ 104,433	▲ 60,153	▲ 97,897	▲ 97,897	0	0
7. その他未処分利益剰余金変動額		0	0	0	0	0	0
8. 当年度未処分利益剰余金 (E)		▲ 60,153	▲ 97,897	▲ 87,842	▲ 166,279	▲ 78,437	28,454

(単位：千円)

科目	年度	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (参考)	令和6年度			令和9年度 計画(参考)
				(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
流動資産		1,080,692	960,274	1,214,962	1,067,713	▲ 147,249	1,490,604
うち未収金		153,470	136,349	137,773	125,700	▲ 12,073	143,230
流動負債		112,615	121,305	90,074	128,940	38,866	91,569
うち一時借入金		0	0	0	0	0	0
うち未払金		29,770	36,006	43,831	39,301	▲ 4,530	44,558
翌年度繰越財源		0	0	0	0	0	0
当年度許可債で未借入 又は未発行の額		0	0	0	0	0	0
単年度資金収支額		73,919	▲ 129,108	68,709	99,804	31,095	89,293
累積欠損金比率 $\frac{(E)}{(A)} \times 100$		7.1	11.5	5.1	20.1	15.0	▲ 2.9
医業収支比率 $\frac{(A)}{(D)} \times 100$		94.3	85.0	92.0	80.1	▲ 11.9	93.9
修正医業収支比率 $\frac{(A)-(B)}{(D)} \times 100$		89.5	79.7	86.6	75.0	▲ 11.6	88.6
地方財政法施行令第15条第1項により 算定した資金の不足額 (F)		0	0	0	0	0	0
地方財政法による 資金不足の比率 $\frac{(F)}{(A)} \times 100$		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健全化法施行令第16条により 算定した資金の不足額 (F) - (G) =		0	0	0	0	0	0
健全化法施行規則第6条に規定 する解消可能資金不足額 (G)		0	0	0	0	0	0
健全化法施行令第17条により 算定した事業の規模 (A)		843,126	835,756	943,125	828,390	▲ 114,735	978,280
健全化法第22条により 算定した資金不足比率 (A)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

資本的収支

(単位：千円)

科目	年度	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (参考)	令和6年度			令和9年度 計画(参考)
				(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
①企業債		102,500	10,700	21,800	18,200	▲ 3,600	21,800
ア建設改良のための企業債		102,500	10,700	21,800	18,200	▲ 3,600	21,800
イその他		0	0	0	0	0	0
②他会計出資金		13,780	21,470	21,480	27,010	5,530	21,480
③他会計負担金		0	0	0	0	0	0
うち基準内繰入金		0	0	0	0	0	0
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0	0
④他会計借入金		0	0	0	0	0	0
⑤他会計補助金		0	0	0	0	0	0
⑥固定資産売却代金		0	0	0	0	0	0
⑦国庫補助金		0	0	1	0	▲ 1	1
⑧都道府県補助金		42,750	0	2,750	1,100	▲ 1,650	2,750
⑨工事負担金		0	0	0	0	0	0
⑩その他		0	0	0	0	0	0
収入計 (a)		159,030	32,170	46,031	46,310	279	46,031
うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)		0	0	0	0	0	0
前年度許可債で当年度借入分 (c)		0	0	0	0	0	0
純計(a)－{(b)+(c)} (A)		159,030	32,170	46,031	46,310	279	46,031
資本的支出							
①建設改良費		145,770	11,730	24,563	30,083	5,520	24,563
②企業債償還金		26,560	42,940	42,960	40,740	▲ 2,220	42,960
③他会計長期借入金返還金		0	0	0	0	0	0
④他会計への支出金		0	0	0	0	0	0
⑤その他		2,400	2,400	1	2,400	2,399	1
支出計 (B)		174,730	57,070	67,524	73,223	5,699	67,524
差引不足額(B)－(A) (C)		▲ 15,700	▲ 24,900	▲ 21,493	▲ 26,913	▲ 5,420	▲ 21,493
補填財源							
①損益勘定留保資金		2,448	24,900	19,037	24,900	5,863	19,037
②利益剰余金処分額		0	0	0	0	0	0
③繰越工事資金		0	0	0	0	0	0
④その他		13,252	0	2,456	0	▲ 2,456	2,456
計 (D)		15,700	24,900	21,493	24,900	3,407	21,493
補填財源不足額(C)－(D) (E)		0	0	0	▲ 2,013	▲ 2,013	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)－(F)		0	0	0	0	0	0

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：千円)

	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (参考)	令和6年度			令和9年度 計画(参考)
			(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
収 益 的 収 支	() 143,449	() 169,583	() 173,158	() 201,789	() 28,631	() 173,158
資 本 的 収 支	() 13,780	() 21,470	() 21,480	() 27,010	() 5,530	() 21,480
合 計	() 157,229	() 191,053	() 194,638	() 228,799	() 34,161	() 194,638

(3) おいらせ病院経営プラン 経営指標に係る数値実績

指標名	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (参考)	令和6年度			令和9年度計画 (参考)	
			(計画値)①	(実績値)②	差②－①		
経常収支比率(%)	104.7	96.3	100.9	93.6	▲ 7.3	102.6	
医業収支比率(%)	94.3	85.0	92.0	80.1	▲ 11.9	93.9	
修正医業収支比率(%)	89.4	79.7	86.6	75.0	▲ 11.6	88.6	
1日平均患者数	入院(人)	46.5	50.2	52.7	50.2	▲ 2.5	55.3
	外来(人)	116	106.7	136.8	106.7	▲ 30.1	139.8
病床利用率(%)	63.7	68.8	78.7	70.7	▲ 8.0	82.5	
平均在院日数(日)	20.1	24.1	20	23.2	3.2	20.0	
給与費対修正医業収益比率(%)	74.9	76.2	71.3	85.0	13.7	69.9	
材料費対修正医業収益比率(%)	11.1	9.9	11.1	11.0	▲ 0.1	11.2	
職員数	常勤医師(人)	4	5	6	6	0	6
	常勤看護師(人)	35	35	37	35	▲ 2	42
現金保有残高(千円)	930,680	960,274	1,077,189	960,274	▲ 116,915	1,347,374	

(4) おいらせ病院経営プラン 病院機能に係る数値実績

指標名	令和4年度実績 (参考)	令和5年度実績 (参考)	令和6年度			令和9年度計画 (参考)
			(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
予定病床数(床)	78	78	78	78	0.0	78
地域医療研修受け入れ件数(件)	2	2	2	2	0.0	3
訪問診療件数(件)	1,185	1,185	1,372	1,213	▲ 159.0	1,380
リハビリ件数(件)	3,980	3,980	5,691	4,363	▲ 1,328.0	6,830
紹介件数(件)	239	239	308	262	▲ 46.0	310
逆紹介件数(件)	186	186	187	149	▲ 38.0	190